

史学委員会歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会  
(第25期・第7回)  
議事要旨

日 時：令和5年(2023) 1月8日(日) 17:00～19:00

場 所：オンライン (Zoom ミーティングを利用)

出席者：石居人也、飯島渉、大友一雄、大橋幸泰、奥村弘、長志珠絵、倉員正江、栗田禎子、久留島典子、高埜利彦、芳賀満、柳原敏昭、若尾政希  
(以上、13名)

参考人：関なおみ、中澤港

## 5. 議 題

### (1) 前回議事要旨の確認

前回の議事要旨を確認した。

### (2) 日本学術会議資料の保存・管理と公開に関して

今回の分科会までに特に進展はなかったことが報告された。

### (3) 被災史料の救済・保存をめぐって

第9回全国史料ネット研究交流集会在、2023年1月28・29日に宮崎市で開催されることが報告された。

### (4) 公文書管理、アーキビスト養成について

2022年11月30日に若尾委員長、高埜委員、大友委員が内閣府大臣官房公文書管理課の吉田真晃課長、菅沼大喜課長補佐と懇談する機会があり、公文書館法附則第2項の撤廃問題、COVID-19 パンデミックをめぐるアーカイブズの構築についても意見交換することができたとの報告があった。

### (5) 日本歴史学協会との共催シンポジウムについて

2023年6月24日に開催し、COVID-19 パンデミックをめぐるアーカイブズの構築についてもテーマとする旨、報告があった。

(6) COVID-19 パンデミックをめぐるアーカイブズの構築のために

本分科会から意思の表出（提言）「新型コロナウイルス感染症のパンデミックをめぐる資料・記録、記憶の保全と継承に向けて」（仮題）を行うこととなっており、その準備の一環として参考人 関なおみ氏（東京都大田区保健所課長）・中澤港氏（神戸大学医学研究科教授）をお招きし、報告をいただくとともに、意見交換を行った。

最後に、意思の表出までのスケジュールと必要な準備について確認した。

(7) その他

特になし